

■（４８）社会科では「知事の任期は４年」のはず…

学校の社会で習う知事の任期は４年。しかし、今の岩手県の知事や県議は就任から４年半になろうとしている。本来は春で任期が終わるはずだった。その選挙直前、震災に襲われた。三陸沿岸は役所も津波に襲われ、選挙はとてもできない。法律で延長された。

その選挙の投票日が震災半年の９月１１日。有権者は誰を復興に向けた次のかじ取り役に選ぶのか。重要な選挙で、報道する側も力が入る。選挙報道ではよく、テレビやネットで「当確」が速報される。当選確実の略だ。開票所で確認できた票数を計算し、さまざまな取材の結果を加えて、テレビ局などが判断する。新聞社ではかつて、誰が当選するかの見極めを、電卓を使い、各候補の得票数を折れ線グラフに表しながらしていた。もちろん今はパソコン。自動計算してくれるが、最後に取材の蓄積がものを言うのは変わらない。

ところで、今回の新聞紙面には「当確」はない。朝刊が読者の手元に届く時にはすでに開票が終わって最終結果が出ていて、「当選」か「落選」しかないからだ。しかも選挙の翌日は朝刊が休みの「休刊日」なので、まずはデジタル朝日やアサヒコムで「判断力」を示します（山）